

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	大空と大地のなーさりい下井草駅前園
法人名	株式会社キッズコーポレーション
法人所在地	栃木県宇都宮市中河原町3-19宇都宮セントラルビル8階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

子ども達が主体的に活動していく中で、自分自身の経験やイメージを他者に伝え、他者の意見も取り入れようとする姿を言葉や、動作、絵や製作などで表現できるようごっこ遊びを活動のテーマとした。普段の遊びとしてのごっこ遊びが発展し、様々な素材を使いアイデアを形にしていき、自分の思いが表現できる嬉しさや達成感を子ども独自の世界観で感じていけるように設定した。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 当園では子ども主体の保育を日頃より実践している為、子ども達が思い描く世界観や発想を大切に、今現在夢中になっているものをより探求できるような活動を行っている。ごっこ遊びを通して、子どもたち自身が関りを考えたり、イメージを形にするには何が必要かを考えたり、形になった時の喜びを感じられていたのでごっこ遊びというテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

映画館を観にいった会話から映画に必要なものを考え、製作できる環境を整えていく。映画館ごっこに必要な素材や道具を用意し、子ども達のイメージに合わせてスクリーン、ビデオカメラなどより本格的な大道具や小道具を用意する。会場だけではなく、受付やポップコーン、衣装と遊びの中から製作し表現していく。進めていく上で進捗状況や振り返りを行う。保護者にドキュメンテーションで活動の様子を伝えたり、発表の場を設ける。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) 映画館をつくるために室内の中で十分なスペースを確保し、映画に必要なスクリーンや、小物、衣装はポリ袋や画用紙背景になる模造紙、絵の具を購入し用意した。クッションや段ボール素材があることで客席、受付チケット、ポップコーンづくりも行っていった。後半では映画製作の為、ビデオカメラや照明などを使い子ども達自信が映画の撮影を行えるよう購入した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

映画館をつくりたいという思いから初めは、ポリ袋や椅子やクッションなどあるものから映画館の雰囲気づくりを行っていた。発展していく中で、映画館の案内や衣装、決まり事を話し合い決めていた。チケットやポップコーンなど小物づくりが進む中で物語や背景なども子ども同士で考え、背景の原案図も描いていた。映画の登場人物も一人ひとりが好きなものを選んだり、舞台以外の場所に興味を持つ子の姿もあった。継続して遊んでいく中で、映画を自分たちで撮影していくまでに広がっていった。物語やその物語に合う小物づくりをしていき、全員が得意な分野で関わり最後は1つの映画ができあがった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等) ごっこ遊びを通して、子ども同士の関わりを自分たちで作っている場面があった。お互いにアイデアを出し合い、認め合いながら進めていた。消極的な子も自分な好きな事を取り入れることで自然に活動に参加していたり、保育者との会話の中でヒントを得て内容を広げていくなどの様子がみられていた。同時に達成感もあり、「もう一度やりたい」と自信をつけている姿もあった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の実践から、大人が思いもしない発想や、友だち同士でのアイデアの共有など素敵な姿を傍で見守れる嬉しさを感じた。私たちが考える常識ではなく子どもたちの発想を大切に一人ひとりが主役になって輝ける環境を一緒に作っていくことが大切だと気付いた。「やりたい」という気持ちで挑戦する、好きや夢中を探求することで子どもの達成感や自信に繋がりが、子どもを信じるという言葉を振り返る機会になった。